

JA広報



えびの

令和5年
(2023年)

6月号



4月28日、JA本店で第45回通常総代会を開催しました。

新型コロナウイルス感染防止対策のため、昨年に引き続き、会場に集まる参加者数を減らし、時間を短縮しての開催となりました。

詳細については2～3ページをご覧ください。

また、総代会資料の内容を抜粋して掲載します。(14ページから32ページまで)

第45回 通常総代会開催



議案すべてを原案どおり承認

4月28日、JA本店で第45回通常総代会を開きました。新型コロナウイルス感染症防止のため、昨年度に引き続き、総代の皆さまには議決権行使書での参加にご協力をいただき、総代484人のうち475人（本人出席78人、議決権行使書397人）が出席しました。

総代会では、令和4年度の事業報告や令和5年度の事業計画、定款の一部変更についてなどの5議案と付帯決議を審議し、議案すべてが原案通り承認されました。議案の詳細については3ページをご覧ください。

小吹敏博組合長は「世界情勢の変化による、エネルギー資源や生産資材をはじめとした物価の高騰や自然災害などの対策として、当JAから独自に約3000万円の助成金を対象農家に支援した」と昨年のJA事業を振り返り、「今後も、農を基軸として地域に根ざした協同組合を目指し、役員一体となつて取り組んでいく」とあいさつしました。

また、組合員表彰規程に基づき神田譲市さんに感謝状を贈呈しました。議事の議長には、加久藤地区の

竹中雪宏総代を選任。南谷康雅専務理事が5議案と付帯決議の内容について説明し、新福紀夫代表理事代行が監査報告を行いました。最後に「食料安全保障の強化に向けた食料・農業・農村基本政策の確立に関する特別決議」を執行部が朗読し、多数の拍手で承認されました。



目次

第45回通常総代会	2
地域の話題	4
ほおずき通信	6
営農情報 畜産関係	8
営農情報 園芸関係	10
営農情報 担い手支援関係	12
営農情報 農産関係	13
協同のあゆみ	14
プリエールあんしんの会	34
クロスワードパズル	35
行事予定	36

JA えびの市は、人権啓発推進事業に取り組んでいます。

提出議案

第1号議案

令和4年度事業報告及び剰余金処分案の承認について

第2号議案

令和5年度事業計画及び関連事項の承認について

(1) 令和5年度事業計画について

(2) 理事及び監事の報酬について

① 組合員の代表等で構成する「役員報酬審議会」において、諸情勢を検討して出された答申結果を踏まえ、令和5年度の

理事の報酬については、総額3026万1312円とし、各理事の報酬額についてはその範囲内において理事会に一任する。(理事11名)

② 組合員の代表等で構成する「役員報酬審議会」において、諸情勢を検討して出された答申結果を踏まえ、令和5年度の

監事の報酬については、総額972万3000円とし、各監事の報酬額についてはその範囲内において監事会に一任する。(監事4名)

第3号議案

定款及び定款附属書総代選挙規

表彰者のご紹介



神田讓市さん

組合員表彰規定により、JAえびの市の組合員、家族および組合員が構成する組織で、他の規範となる個人、団体を総代会で表彰するものです。

程の一部変更について

第4号議案

固定資産の処分について
(1) 次の固定資産を処分する。

(単位：千円)

施設名	数量	金額	住所	面積
土地	1	31,226	えびの市大字栗下字北田220番7	3,776.00㎡
土地	1	6,586	えびの市大字小田字小田西99番	741.71㎡
合計	2	37,812		4,517.71㎡

第5号議案

国等の施策に基づく奨励金等の事務の委任について

令和5年度中に国等の施策に基づき、農畜産物の生産、流通及び農用地等に関して、生産者が国等より支払いを受ける奨励金等(調整金、助成金一切を含む)の交付申請、請求及び受領に関する権限ならびに返還に関する事務を組合に一任する。

付帯決議

本日の決議事項中、権利義務に關しない軽微な事項の修正及び法令、その他行政庁の処分又はこれに基づく指示による場合に必要なる字句の修正をなすことを理事会に一任する。

報告事項

- (1) 労働保険事務組合の労働保険料の納付状況について
- (2) JAバンク基本方針の変更について
- (3) 株式会社 ジエイエイえびの市 葬祭の令和4年度事業報告と令和5年度事業計画について
- (4) 株式会社 JAアグリランド田の神さあ令和4年度事業報告と令和5年度事業計画について

友の会会員の輪を広げましょう

JAえびの市年金友の会



5月17日 飯野支部総会



5月18日 加久藤・真幸支部総会

5月17日・18日の二日間、JAえびの市年金友の会は、えびの市文化センターで第35回の総会を開きました。

17日は飯野支部、18日は加久藤支部と真幸支部の会員らが集まり、2日合わせて会員約800人が出席しました。

堀川純一会長が「コロナ禍の中で、昨年度は皆さんのご協力のおかげで全ての行事を行うことができた。今後も会員同士の絆を深めていきましよう」とあいさつし、トルコ・シリアへの支援、年金友の会の会員拡大について会員の協力を呼びかけました。

総会では、本部役員会と支部役



あいさつをする堀川会長



高座に上がる落語家の桂竹丸さん



員会で承認されたゲートボールやグラウンドゴルフ大会のほか、会員旅行に「湯の街別府と国東半島2日間」「伊香保温泉と鬼怒川温泉の旅3日間」の年間計画について資料説明をしました。

総会後は、鹿屋市出身の落語家、桂竹丸さんによる演芸ショーが行われ、会場は笑い声で溢れました。年金友の会では今年2月にトル

コ・シリアで発生した地震に対する支援募金として、会場に募金箱を設置しました。大変多くの皆様にご賛同いただき、2日間で総額1万5,350円の募金が集まりました。

お寄せいただいた募金は、5月25日に年金友の会を代表して堀川会長が小吹敏博組合長に手渡ししました。今後、JA宮崎中央会を通じて、被災地での救援活動や復興支援事業に活用されます。皆様の温かいご支援ありがとうございます。



小吹組合長に手渡す堀川会長



JAえびの市は、人権啓発推進事業に取り組んでいます。

おしゃれフェア

5月23日・24日の2日間、JA本店2階でおしゃれフェアを開きました。ジュエリーやカバンなどの展示販売のほか、指輪のサイズ直しやネックレスの修理などのメンテナンスも行い、多くの来場者が訪れました。



無人ヘリコプター水稲農薬散布 申込受付中

無人ヘリによる水稲農薬の重点防除を実施します。
お申込みは各グリーンセンターまで。

【散布内容】

防除時期		病害虫名
1回目	8月上旬 ～中旬	ウンカ類
		いもち病・紋枯病
2回目	8月下旬 ～9月上旬	ウンカ類・カメムシ
		いもち病



※お申込み・お問い合わせ先※
グリーンセンター飯野 33-2212
グリーンセンター加久藤 35-0451
グリーンセンター真幸 37-0023

【申し込み期限】 令和5年7月7日(金)

JAからのお知らせ

農業用廃プラスチック集積日

◎今月は**塩化ビニール**の集積月です◎

- ・集積場所 えびの市一般廃棄物最終処分場
- ・時間 午前9時～正午迄
- ・集積日 6月20日(火)

※ビニールとポリマルチは混ぜないでください
※決められた収集日に出してください。

きこえの相談会

7月開催のお知らせ

7月14日(金) 9時30分～13時

会場:JAえびの市 生活館夢工房

TEL 33-5743 (生活課)

- ・専門スタッフがきこえのお悩みをお伺いします。
- ・聴力の測定をします。
- ・きこえに合わせて調整した補聴器の試聴ができます。

当日ご来場できない方は「きこえ」に詳しい専門スタッフが
ご自宅までお伺いします。

お気軽にお越しください



〔ひとのうごき〕

5月12日付で人事異動を実施しました。

〔退職〕

◎5月12日発令

○山下 諒 真 (農機燃料課)

ほおずき通信

(JA女性部通信)

5月10日、JA女性部学習会を開きました。40名の参加があり、南谷専務より県域JA構想の話の聞いたり、商品研修・大腸ガンについての勉強会をしました。
また、家の光を参考に「肩たたき棒作り」をし参加者全員でワイワイ言いながら楽しい時間を過ごしました。



グラウンドゴルフ大会

5月12日、晴天の下48名の参加者で久しぶりにグラウンドゴルフを楽しみました。

- 1位 山元 美智子さん
- 2位 高谷 千代子さん
- 3位 山野 悦子さん

他にブービー賞、敢闘賞、当日賞等あり皆さんに喜ばれました。



◎お知らせ◎

女性部の皆様のご協力のもと、トルコ・シリア地震被害支援募金に、たくさんの募金が集まりました。
ご協力ありがとうございました。



これを畑におくともぐら避け・鳥避けになります。



◆お問い合わせ◆ 生活課 33-5743 生活館 夢工房 35-1810



みんなのよい食プロジェクト



牛乳をもっと食卓に

おいしい ミルクレシピ

レシピ●料理家・管理栄養士 小山浩子さん
出典●Jミルク「乳和食サイト」

ミルク衣で減塩に

エビのしそ巻き天ぷら

材料 (2人分)

- エビ (ブラックタイガー) ……6尾
- 白こしょう ……少量
- 青ジソ ……6枚
- 衣
 - ※計量後に冷蔵庫で冷やしておく
 - 小麦粉 ……50g
 - 水 ……50ml
 - 牛乳 ……50ml
- サラダ油 ……適量
- レモン ……適宜

作り方

- ①エビは背ワタを取り、尾を残して殻をむいたら、白こしょうを振って青ジソを巻く。
- ②①の表面の水分を拭き取り、小麦粉 (分量外) をうっすら全体にまぶす。
- ③衣を作る。ボウルに氷水を当て、衣の材料を小麦粉、水、牛乳の順に加えて箸でダマが残るくらいに混ぜる。②のエビを衣にくぐらせ、170度に熱したサラダ油で揚げる。
- ④器に盛り、レモンを添える。



家の光



いえがっ暮らしを グレードアップ

お申し込みは
お近くのJAへ

毎月の本誌と年6回の別冊付録で
読者の思いに寄り添い、よりよい暮らしの実現に向けた
記事作りをしています

- 定価(税込)
- 普通月号 629円
- 付録月号(1・4・5・7・9月号)922円
- 家計簿付き12月号 1,027円

「関係ない」 そう思わずに 勇気を出そう

令和5年5月期子牛セリ市結果

JAえびの市管内	今回(5年5月)		前回(5年4月)			前年(4年5月)		
	頭数	平均価格	頭数	平均価格	増減	頭数	平均価格	増減
メス	106	512,932	94	584,065	△71,133	104	556,135	△43,203
去勢	130	642,265	121	710,164	△67,899	129	696,010	△53,745
計	236	584,175	215	655,032	△70,857	233	633,576	△49,401

☆5月期JA主催子牛品評会

5月1日、JA畜産センターで、5月期子牛品評会を開催しました。成績は、別表のとおりです。(敬称略)

☆5月期郡子牛品評会

5月10日、西諸畜連で郡子牛品評会が開催されました。JAえびの市管内から11頭が出品され、成績は下表の通りです。(敬称略)

☆5月期子牛セリ結果

5月13日(15日までの3日間)、西諸畜連で5月期子牛セリ市が開催されました。成績は上表の通りです。子牛セリ市終了後の事故が多発しています。生産者の皆さんは解約や値引き等発生しないように、飼養管理には充分注意して下さい。子牛生産検査以降に発生したケガや尿石等の事故、その他小さなことでも気付いた点は、担当者に相談するか、またはセリ市上場時に必ず発表するようにお願いします。

令和5年5月期JA子牛品評会成績

	名号	出品者(敬称略)
優等賞	第138 ゆり	(株)坂元農場
壹等賞1席	たかね	新天寺博
壹等賞	ありす	堂原昭八
〃	くすはな171	楠元逸夫
〃	きりしま269	JAえびの市和牛繁殖センター
〃	ここ	吹上裕樹
〃	くみ	塩屋大吾
〃	ゆう	盛田美次
〃	ふくはる	入佐幸男
〃	みはる	大澤秋男
〃	ちなみ	北別府美和子
貳等賞	みつまんひで	深瀬浩一
〃	なな	山之内小枝子
〃	第945 あさ	坂元幸保
〃	第942 さちこ	坂元幸保
〃	さち	拂田慶一郎
〃	らん	岡原正巳
〃	まり	塩屋大吾
〃	第139 ぱるむ	(株)坂元農場
〃	めら	前原亮太
〃	ひめ634	松元丈男



令和5年5月期郡子牛品評会成績

	名号	出品者(敬称略)
優等賞3席	第138 ゆり	(株)坂元農場
壹等賞	たかね	新天寺博
〃	くすはな171	楠元逸夫
〃	ここ	吹上裕樹
〃	くみ	塩屋大吾
〃	みはる	大澤秋男
〃	ちなみ	北別府美和子
貳等賞	ありす	堂原昭八
〃	きりしま269	JAえびの市和牛繁殖センター
〃	ゆう	盛田美次
〃	ふくはる	入佐幸男

※壹等賞・貳等賞は、順列は付けてありません。

※壹等賞・貳等賞は、序列は付けてありません。

JAえびの市は、人権啓発推進事業に取り組んでいます。

早期の暑熱対策に努めましょう！

梅雨に入ると、高温多湿の環境が続き、ストレスが発生しやすい時期です。この時期の飼養管理には常に注意を払う必要があります。

また、梅雨が明けると気温の高い日が続きます。子牛の病気や繁殖牛については、採食量の減少、受胎率の低下等を招き生産性の低下が懸念されますので飼養管理には充分注意してください。

牛の快適温度は15度～25度となっていてえさ食いが良く、種付きも良いとされています。

梅雨時期にはカビによる飼料の変質、堆肥の滞留や雨による床の汚染、蚊・アブなどの吸血昆虫の発生等、飼養環境の変化によって病気が発生しやすい時期でもあります。下記の対策を行ってください。

- ◎濃厚飼料はまとめ買いを避け、保管は高温多湿な場所を避けて保管してください。
- ◎牛舎は湿りやすい時期ですので、こまめにボロ出しを行い、アンモニア等の発生を抑え悪臭防止に努めましょう。
- ◎電気殺虫器等早めの設置を行いましょう。
- ◎牛舎周辺の草刈り等環境整備の実施

暑熱の対策として、

- ◎牛の周囲の気温を下げるため、風通しを良くし直射日光を遮る。(寒冷紗等の利用)
- ◎牛舎屋根等への散水。
- ◎送風機、扇風機等の活用により直接牛体を冷やす。
- ◎新鮮な水の給与を行う。(飲水場は直射日光の当たる場所は避けて設置)
- ◎密飼いを避ける事も効果的です。



営農情報

☆イチゴ

(担当：山下賢太)



育苗管理について

育苗の充実と土づくりを行い、来年度に備えよう!!

管理のポイント

1. 有機物を投入して、陽熱消毒の
実施

2. 炭そ病、うどんこ病、ハダニの
定期防除

本圃の管理

・土壌分析用の土の提出をお願いします。
(全戸全圃場)

・ハウス内を10日間程度蒸し込み、
早めに土作りを行います。

・イオウ病発生圃場は、クロピクフ
ロー、バスマミド、キルパのい
ずれかにて消毒をお願いします。

・高設でのキルパー使用は薬量計算
が必要になりますので、必ず担当
まで連絡をお願いします。

親株床の管理

・風通しを良くするため、鉢の間隔
は6cm程度空ける。(密集させな
い・多湿厳禁)

・炭そ病対策として、完全雨よけ+
育苗床へのシート被覆による泥は
ね防止対策をお願いします。

・梅雨明け後は、強光線を避けるた
め、寒冷紗等で遮光する。

☆キンカン

(担当：山下賢太)



きんかん栽培で最も重要な花芽分
化時期に入ります。少量多灌水を行

◎園芸関係◎

い、花芽分化前の管理に努めましょ
う(3t/10a、7/10日間隔)。
夜温20℃以上で管理すると花芽分化
が起こります。

1番花の開花予定の2週間前(6
月上旬)からは夜温23℃、昼温26℃
で管理しましょう。花粉量増加と子
房の充実を図るため尿素500倍液
の葉面散布を7日間隔で行ってくだ
さい。

開花期に32度以上の高温に遭うと
結実が悪くなり、す上がり果や生理
落果の要因となります。高温になら
ないようにサイドビニールを除去し、
雨よけで管理してください。開花時
期は灰色カビ病やスリップスに注意
し、防除を行いましょ。

☆栗

(担当：山下賢太)



開花後の管理としてベンレート水
和剤(2000倍)を使用した実炭
疽病の予防を行ってください。クリ
タバチの害虫防除ではアデオ
ン乳剤(2000倍)を使用し防除を
行いましょう。近隣に野菜畑などが
ある場合は注意して無風の時間帯に
散布をお願いします。低樹高剪定後
の芽かぎは新梢停止後の7月中旬頃
から行い、1㎡当たり4〜6本程度
を残して整理します。枝長50cm以上
で、基部が1cm以上の先端が太く充
実したものを残します。

☆キユウリ

(担当：朝倉章太)



病害の蔓延を防ぐ基本は、発症前
の予防的防除の徹底です。降雨前を
基本に管理を行いましょ。梅雨時
期になりますので、天気予報を参考
にしながら雨間の防除好機を逸しな
いようにしましょ。アブラムシや
スリップスによるウイルス病の発生
があった場合は致命的な減収に繋が
りかねませんので早期防除に努めま
しょ。

追肥の施用は収穫の始まる頃から
追肥遅れになると、樹勢や実の肥大
に影響を与えてしまますので注意
が必要です。

☆菊

(担当：朝倉章太)



奇形花対策として、ハウス内温度
をできる限り抑えるように管理しま
しょ。消灯時の節数は27〜30節程
度とします。葉焼け対策としては、
ハウスの妻面を解放して換気をよく
し、ハウス内の空気を停滞させない
ことが重要です。消灯5〜6日前、
消灯時および消灯後に5〜6日間隔
を基準としてカルシウム剤の連続葉
面散布を行うことも葉焼け防止に有
効です。

☆ベビーハンズ

(担当：朝倉章太)

病害虫が発生しやすい時期ですの
で5〜7日間隔で防除を行いましょ
う。発生が多くなるコガネムシやヨ

トウムシの成虫には、ニューウイン
ズバック(コガネムシ対策)やコン
フューザーV(ヨトウムシ対策)と
いったフェロモン剤が有効です。ほ
場内の除草を行い、害虫の住処をな
くすことも害虫対策です。こまめな
除草作業を行っておきましょ。
べど病についてはアグロケアやダ
コニールといった予防剤を中心に散
布を行い、発生を確認した場合は治
療剤の散布をしましょ。
収穫後は選別を徹底し、出荷をお
願いましょ。

☆ゴーヤー

(担当：山下陽平)



梅雨時期や訪花昆虫の活動が活発
になる7月までは、午前中に人工交
配を行い着果量の確保をしてくださ
い。曲果になりそうな果実には、ス
マートを装着しA品率の向上に努め
ましょ。ゴーヤーの着果量が多く
なると養分競合から曲果や尻太果、
尻細果が発生しやすくなります。草
勢と着果状況をみながら摘果や追肥
を行いましょ。

病害虫防除については、うどんこ
病や斑点細菌病対策として、ジー
ファイン水和剤やZボルドー(とも
にノーカウント)を使用し予防中心
の防除を心掛けてください。害虫に
ついてはアブラムシの発生も多くな
りますので、発生初期の早めの防除
をお願いします。

☆ピーマン

(担当…山下陽平)

農繁期になりました。田植え等の他品目作業の影響で収穫や枝の整理、防除が遅れないよう計画的な管理に努めてください。特に懐枝の整理が遅れて過繁茂になると、白果の発生や不着果、病害虫の発生を助長しますので注意しましょう。



曇天が続くときは十分な日照を確保できるよう遮熱遮光資材の調節を行い、1週間に1回程度の間隔でホスプラスの1000倍〜2000倍液や、グリーンセーフプラスの1000倍液等を葉面散布するのが効果的です。高湿度状態が一定期間続くと黒枯病、逆に極端な乾燥または草勢が低下するとうどんこ病を発生しやすくなるので十分注意しましょう。

☆キャベツ

(担当…山下陽平)



これから収穫最盛期を迎えます。収穫が遅れると裂球しますので収穫遅れがないよう注意しましょう。

今後は気温・湿度ともに上昇するため、病害虫の発生やカルシウム欠乏症などの生理障害の発生が懸念されます。雨が多くなると軟腐病や株腐病等が発生しやすくなるので、収穫前の薬剤の使用時期に注意して病害虫防除に努めましょう。降雨が続くと肥料流亡や根傷みによる草勢低下も懸念されますので、生育期間中の圃場については雨上がりの早急な中耕や追肥を行い草勢回復に努めましょう。

☆加工甘藷

(担当…山下賢太)



降雨が多い場合に備えて排水対策を万全にしましょう。かんしょ茎・根腐敗症が今年度も発生することが考えられます。定期的な圃場巡回と銅剤による予防散布を行います。発生を確認した場合はアミスター20フロアブルを散布しましょう。

銅剤

Zボルドー

希釈倍率…500倍

使用液量…100〜300L/10a

使用時期…制限無し

使用回数…制限無し

ジーファイン水和剤

希釈倍率…1000倍

使用液量…200〜300L/10a

使用時期…収穫前日まで

使用回数…制限無し

治療剤

アミスター20フロアブル

希釈倍率…2000倍

使用液量…100〜200L/10a

使用時期…収穫14日前まで

使用回数…3回以内

☆白ネギ

(担当…内村直樹)



圃場の排水対策は必ず実施しましょう。圃場内に水が滞留すると根傷みや病気が蔓延しやすくなるので定期的な管理をお願いします。

最初の削り込みは茎の太さが5〜6mmになったところに開始します。併せてオリゼメート粒剤(軟腐病)やモンカットフロアブル40(白

絹病)の散布を行い、防除に努めましょう。

7月以降の高温期に引き抜き等の除草作業を行うと、根を傷つけてしまい軟腐病の発生が懸念されますので、今のうちに除草しましょう。除草剤を使用する場合は絶対にネギにかからないよう注意してください。

☆生姜

(担当…山下賢太)



1回目の追肥(燐硝酸加里S22640kg/10a)を行います。また、乾燥防止のための敷き藁も行ってください。管理機による中耕、培土を行なう際に排水路も確認し、降雨が溜まらないようにしましょう。

根茎腐敗対策

ユニフォーム粒剤 18kg/10a

☆里芋

(担当…内村直樹)



梅雨時期に入り、平均気温が25℃前後になると疫病の初発が確認されるようになります。こまめに圃場に行き、あやしい株がないか確認しましょう。未発生であれば予防剤の散布を継続します。発生を確認したときは治療剤のダイナモ顆粒水和剤を散布し、1週間後にアミスター20フロアブルを散布してください。

予防剤

ジーファイン水和剤

希釈倍率…1000倍

使用液量…150〜500L/10a

使用時期…収穫前日まで

使用回数…制限無し

ペンコゼブ水和剤

希釈倍率…500倍

使用液量…100〜300L/10a

使用時期…収穫7日前まで

使用回数…2回以内

治療剤

ダイナモ顆粒水和剤

希釈倍率…2000倍

使用液量…100〜300L/10a

使用時期…収穫21日前まで

使用回数…3回以内

アミスター20フロアブル

希釈倍率…2000倍

使用液量…100〜300L/10a

使用時期…収穫14日前まで

使用回数…3回以内

農薬散布の際は、必ず展着剤を入れて使用してください。

カンパネラ水和剤(NEW!)

希釈倍率…1000倍

使用液量…100〜300L/10a

使用時期…収穫7日前まで

使用回数…2回以内

☆今回からさといもの疫病に対して登録拡大された農薬になります。予防と治療効果を持ち、収穫7日前まで使用可能となっています。進達性と浸透移行性があることから、展着剤はクミテンといった展着効果だけのものでも対応して下さい。また、石灰硫黄合剤・ボルドー剤との混用は7日以上あけるようにして下さい。

営農情報

◎園芸関係◎

☆加工ほうれん草

(担当：朝倉章太)



加工ほうれん草の新規作付希望の方は、6月30日までに農産園芸課までご連絡をお願いします。播種時期は、9月下旬～1月末、収穫期間は12月～4月末までです。

☆カボチャ

(担当：朝倉章太)



令和5年度のカボチャの取りまとめを実施します。苗を注文される方や作付希望の方は早めに農産園芸課まで連絡をお願いします。

☆玉ネギ

(担当：朝倉章太)



令和5年産の玉ネギ作付けを募集します。玉ネギの作付け時期は、11月中旬～11月下旬まで、JAで機械移植作業が可能です。水田の裏作や排水が良く陽当たりの良い休耕田に作付けが可能です。ご希望の方は農産園芸課までご連絡をお願いします。

各品目の栽培のお申し込み・お問合せはJAえびの市農産園芸課(☎33-5756)までご連絡ください。

◎担い手支援関係◎

営農情報

農作業死亡事故多発警報発令中

県内では春の農作業安全確認運動期間内である、令和5年3月1日から令和5年4月26日までに、4件の農作業死亡事故が発生したことから、農作業死亡事故多発警報を発令します。

農繁期を迎え、トラクター等の農業機械を使って作業をする機会が多くなっていますので、農業機械を使うときは、シートベルトやヘルメットを必ず着用し、安全な農作業の実践を心がけて下さい。

－農作業を行うときの注意点－

1 農作業事故の予防策

農作業死亡事故の原因として最も多いものは、乗用型トラクター等の転倒・転落によるものです。農作業事故を未然に防ぐために、シートベルト、ヘルメットを着用し、万が一の転倒に備えましょう。

また、安全フレーム付きトラクターを利用して横転時にトラクターの下敷きになることを防ぎましょう。

農作業事故を「自分ごと」として捉えることも大切です。

2 高齢者の事故防止対策

今季、県内ではすでに4件の農作業死亡事故が発生していますが、内3件が65歳以上の高齢者であり、全国でも農作業死亡事故のほとんどが高齢者によるものです。

農作業をする場合、できるだけ2人以上で作業をし、やむを得ず1人で作業をする場合は、家族や周囲に行き先や場所等を伝え、携帯電話を持つようにしましょう。

3 熱中症予防の徹底

今後気温が高くなることが予想されます。農作業中の熱中症による死亡事故は7月から8月に多い傾向がありますが、5月頃であってもビニールハウス内等において死亡事故が発生しています。

屋外では帽子の着用、屋内では送風機やスポットクーラー等を利用しましょう。

また、のどが渇いていなくても、積極的に水分補給をしましょう。



営農情報

☆水稻

(担当：内村直樹)

6月に入り、いよいよ田植えの時期となりました。前作がイタリアンライグラス等や雑草が多かった圃場で、早期のすき込みが出来なかつた圃場はガスによる根腐れが発生する場合があります。ガスが原因と思われる生育不良が発生した場合は、軽くひび割れが入る程度にガス抜きを行います。(除草剤を使用した場合は、散布後一週間程度待つてから行ってください)

基肥が不十分であった場合などを除いて、分けつ肥の施肥は倒伏を助長する場合がありますので行わないようにしましょう。

作付け時の品種の間違いには十分注意しましょう。また、植付けを依頼される場合も、依頼する際にしっかりと品種を伝えるようにしましょう。
(例：ヒノヒカリとヒヨクモチを植えてほしい。等)

☆箱施薬

田植えの際は、初期病虫害の予防対策として必ず箱施薬を散布してから田植えを行います。

◎農産関係◎

薬剤名：防人箱粒剤

使用量：1箱当たり50g

使用時期：は種時(覆土前)

→移植当日

水田の環境条件や年柄によっては、いもち病や害虫類の多発が懸念されます。箱施薬を散布しても生育中の発生動向には十分注意し、病虫害の発生を確認したら早期に防除を行ってください。



☆除草剤

除草剤には粒剤、フロアブル剤(液剤)、ジャンボ剤などの様々な種類(形態)があります。いずれも内容成分の水中拡散性が高い性質がありますので、使用方法を農薬のラベルで十分確認したのち、使用するようにしましょう。

田植と同時に除草剤処理を行う際は、植え穴への土の戻りが悪い

と薬害が発生する可能性があります。また、除草剤散布後の補植は、水田内を歩行することにより除草剤の処理層を壊し、除草効果が落ちる原因や処理層の薬剤が水稻の根に触れ、薬害の原因となるため行わないようにしましょう。



様々な種類の除草剤 使い方はラベルを十分確認してください

毎年、箱施薬剤と除草剤を間違えて使用してしまうトラブルが発生しています。

高齢者や農作業に不慣れな方が箱施薬を施用される場合は、ラベルをよく確認するなどして特に注意をお願いします。

☆ジャンボタニシ防除剤

薬剤名：スクミノン

使用量：1kgから4kg/10a当り

使用時期：収穫60日前まで

ジャンボタニシをメインとした防除剤です。苗の活着時期に使用することで食害を防ぎます。10aに2袋(4kg)の全面散布が基本ですが、水口周辺や深水になる場所には被害が多い傾向にありますので、それらの場所には所定の範囲内で多めに散布することも効果的です。湛水状態で使用し、散布後7日間は落水やかけ流しを行わないでください。



第45年度事業報告

1. 組合の事業活動の概況に関する事項

(1) 主な事業活動の内容と成果

令和元年12月に中国で初めて報告され、世界的な流行をした新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、多くのイベント等は、中止せざるを得ない状況でありましたが、産業文化祭、年金友の会の行事につきましては、感染予防対策を講じながら、県下JAで唯一実施いたしました。

そのような中、組合員の所得確保と地域農業振興、JA経営基盤の確立・強化、持続可能な地域社会づくりへの貢献に取り組みました。また、令和6年4月の合併を目標に掲げている「県域JA構想」も、理事会にて合併に伴う基本合意を決議し、県域JA設立推進協議会を設置して最終的な協議を進めております。

原油価格・資材価格高騰については、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の影響も受けて、高止まりの傾向にあり今後も見通しがつかず、農畜産物価格、農畜産物生産に大きく影響している状況がありましたので、当JA独自の農家支援として台風14号被害の支援も合わせて2,970万円の対策を行いました。

当JAの経営理念として「農業生産の拡大」「農業者の所得増大」「活力ある地域づくり」がありますが、「特A産地」「宮崎特選米」を活かした価格の高い米の販売に努めました。

畜産振興策では、和牛生産は繁殖センターの本格的稼働により生産基盤強化に努めました。肥育牛は、全国和牛能力共進会に出品した

管内の肥育牛が、優等賞首席・内閣総理大臣賞を獲得し、宮崎牛日本一四連覇に貢献しました。経済連と連携した「宮崎牛」の販促活動、養豚は地元高校への消費拡大運動、産業祭販売等、酪農は優良育成牛及び搾乳素牛導入による所得向上、鶏卵は系統ブランド卵等の販売促進に努めました。

水稲部門では、平年より12日遅く梅雨入りし、梅雨明けについても平年より8日遅くなりました。その後は高温多照傾向で推移し、生育期間中に発生した台風14号の影響が大きく、作況指数95の1等米比率はヒノヒカリ1・8%、集荷計画6万5千袋に対し6万3千袋余となりました。価格は全国的にはかなりの下落傾向ではありましたが、変わらぬ食味の高評価、「特A」効果もあり7,020円（ヒノヒカリ1等）で仮渡しすることができました。

園芸部門では、コロナ禍の影響や台風14号の影響を受け販売環境は厳しい品目もありましたが、契約・値決め・買取などの販売を充実した結果、前年比111%の5億7,997万円の取扱高となりました。

畜産部門では、繁殖農家の高齢化などにより令和4年12月末では繁殖農家戸数は250戸と前年同月比26戸減少し、母牛の頭数は3,841頭と71頭減少しました。価格につきましては、全国的なコロナ禍の影響もあり、小林地域家畜市場において当JA取引平均価格が59万3千円（税別）（前年比86%）となりました。また、肥育牛では血液検査結果を基にした、飼養管理改善を図り、優良な肥育成績を収めることが出来ました。

JAえびの市肥育牛部会での平均枝肉重量は去勢が519・7kg、枝肉価格134万7千円（税別）（県下平均枝肉重量は去勢が499・9kg、枝肉価格122万5千円（税別）でした。

購買事業につきましては、原油価格の高騰や海上運賃等の影響で、飼料・肥料などの生産資材が高止まり状況にあります。肥料農薬の

特売会の開催、予約購買、低コスト肥料の普及を行い、利用高にに応じた生産資材のポイント奨励措置857万円を行いました。農業機械においては、畜産クラスター事業等の国庫事業を活用し、農業者の初期投資を抑える機械導入を進めました。

道の駅えびのは、令和4年度も新型コロナウイルス第7～8波の影響を受け、感染防止対策を講じながらの営業となりました。来場者は年間59万9千人で前年対比約8%増、売り上げも4億8,078万円、前年対比約15%増でありました。また、足湯の駅えびの高原の売り上げは、2,787万円、前年対比約26%の増でありました。

信用事業につきましては、日銀のマイナス金利の影響を受ける中で、県下統一キャンペーン、金融渉外による巡回を展開し、335億8,828万円の貯金残高となりました。

融資部門では農家の高齢化などの要因で資金需要は減少しています。が、教育・住宅・マイカーローン等の積極的推進を行いました。また、年金友の会と連携し会員拡大に努めた結果、新規年金振込口座125件を獲得できました。

共済事業では、9月に襲来した台風14号の建物被害に対し、迅速・適正な対応ができました。また、不慮の事故や自然災害へ備えるためコロナ禍の中、感染防止対策を行いながら、LAを中心に訪問活動を展開し「ひと、いえ、くるま」の総合保障の拡充を図り、交通安全キャンペーンへの参加、市内新中学生へのJA共済反射タスキの贈呈を行い、交通安全の啓発活動にも努めました。

子会社について、(株)ジェイエイエびの市葬祭では、葬儀件数については、今年度もコロナ禍の中、会葬者の減少もありましたが感染防止対策を行い、故人とのお別れの葬儀にスタッフが心を込めてお

手伝いさせていただき、229件の取扱いとなりました。加久藤会館、飯野会館でのお葬式事前相談会の開催や特典付きの「あんしんの会」会員獲得に努めました。

(株)JAアグリランド田の神さあでは、高齢化や後継者不足により農地の維持が困難な方に対応するため受託作業、水稻、飼料用稲、イチゴの作付に取組みました。

経営面では、農業を取り巻く環境は厳しく販売事業取扱高は道の駅えびのの売上を含んで、56億3,008万円(前年対比100%)、購買事業30億6,354万円(前年対比110%)、信用事業では貯金平均残高323億3,832万円(前年対比102%)、貸出金平均残高59億5,976万円(前年対比99%)、共済事業では長期共済保有高1,128億3,873万円(前年対比96%)の実績でありました。その結果、財務状況では自己資本比率12・87%、貯貸率18・43%、当期剰余金2,070万円となりました。

また、JA経営健全化対策の取組みにつきましては金融再生法開示債権比率の改善やリスク管理債権の回収、コンプライアンス態勢の強化を図り経営健全に努めました。

JA職員資格認証試験、各事業に関係する資格試験の受験を積極的に進め職員の資質向上に努めました。

第45年度(令和5年1月31日現在)貸借対照表

えびの市農業協同組合
(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
1. 信用事業資産	32,219,698,117	1. 信用事業負債	34,684,867,975
(1) 現金	265,654,760	(1) 貯 金	33,589,717,085
(2) 預 金	25,684,261,189	(2) 借入金	614,998,367
系統預金	25,467,749,354	(3) その他の信用事業負債	480,152,523
系統外預金	216,511,835	未払費用	778,762
(3) 貸出金	6,218,632,769	貸付留保金	384,079,800
(4) その他の信用事業資産	116,306,821	その他の負債	95,293,961
未収収益	113,979,515	2. 共済事業負債	117,997,497
その他の資産	2,327,306	(1) 共済資金	57,730,403
(5) 貸倒引当金	△65,157,422	(2) 未経過共済付加収入	60,214,324
2. 共済事業資産	156,016	(3) その他の共済事業負債	52,770
(1) 共済雑資産	156,061	3. 経済事業負債	435,646,947
(2) 貸倒引当金	△45	(1) 経済事業未払金	350,886,321
3. 経済事業資産	1,705,768,015	(2) 経済受託債務	16,109,243
(1) 経済事業未収金	523,869,229	(3) その他の経済事業負債	68,651,383
(2) 導入家畜未収金	488,247,900	4. 雑負債	199,404,740
(3) 経済受託債権	365,808,628	(1) 未払法人税等	754,200
(4) 棚卸資産	281,763,930	(2) 資産除去債務	66,114,067
畜産棚卸資産	97,041,992	(3) その他の負債	132,536,473
購買品	163,533,452	5. 諸引当金	142,681,790
原材料	20,402,201	(1) 賞与引当金	19,445,547
印紙・証紙	786,285	(2) 退職給付引当金	108,176,729
(5) その他の経済事業資産	68,173,037	(3) 役員退職慰労引当金	15,059,514
賃貸事業資産	64,445,366	6. 再評価に係る繰延税金負債	144,889,272
その他の資産	3,727,671	負債の部合計	35,725,488,221
(6) 貸倒引当金	△22,094,709		
4. 雑資産	226,942,932	(純資産の部)	
(1) 雑資産	226,975,822	1. 組合員資本	2,009,786,949
(2) 貸倒引当金	△32,890	(1) 出資金	884,233,000
5. 固定資産	1,814,926,956	(2) 利益剰余金	1,135,931,949
(1) 有形固定資産	1,814,926,956	利益準備金	492,000,000
建 物	2,127,486,785	その他利益剰余金	643,931,949
構築物	147,557,582	特別積立金	148,100,000
機械装置	624,711,654	信用事業基盤強化積立金	1,000,000
土 地	959,131,116	固定資産取得積立金	122,000,000
その他の有形固定資産	535,867,125	教育情報積立金	59,730,000
減価償却累計額	△2,579,827,306	経営健全化積立金	153,000,000
6. 外部出資	1,931,569,373	農業生産基盤維持積立金	61,679,537
(1) 外部出資	1,931,569,373	出資金払戻積立金	25,883,473
系統出資	1,723,079,371	当期未処分剰余金	72,538,939
系統外出資	188,990,002	(うち当期剰余金)	20,702,028
子会社等出資	19,500,000	(3) 処分未済持分	△10,378,000
7. 繰延税金資産	47,702,009	2. 評価・換算差額等	211,488,248
資産の部合計	37,946,763,418	(1) 土地再評価差額金	211,488,248
		純資産の部合計	2,221,275,197
		負債及び純資産の部合計	37,946,763,418

JA えびの市は、人権啓発推進事業に取り組んでいます。

第45年度（令和4年2月1日から令和5年1月31日まで）損益計算書

えびの市農業協同組合
(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
1. 事業総利益	968,476,160	(11) 加工事業収益	202,348,798
事業収益	4,528,270,926	(12) 加工事業費用	181,014,477
事業費用	3,559,794,766	加工事業総利益	21,334,321
(1) 信用事業収益	226,760,723	(13) 利用事業収益	377,864,984
資金運用収益	204,519,819	(14) 利用事業費用	323,377,288
(うち預金利息)	(85,287,846)	利用事業総利益	54,487,696
(うち貸出金利息)	(98,884,919)	(15) 導入家畜事業収益	11,975,782
(うちその他受入利息)	(20,347,054)	(16) 導入家畜事業費用	355,531
役務取引等収益	11,222,082	導入家畜事業総利益	11,620,251
その他経常収益	11,018,822	(17) 指導事業収入	87,378,954
(2) 信用事業費用	5,109,594	(18) 指導事業支出	120,493,479
資金調達費用	1,897,256	指導事業収支差額	△33,114,525
(うち貯金利息)	(853,406)	2. 事業管理費	955,877,089
(うち給付補てん備金繰入)	(25,667)	(1) 人件費	706,187,298
(うち借入金利息)	(190,503)	(2) 業務費	70,557,412
(うちその他支払利息)	(827,680)	(3) 諸税負担金	35,736,805
役務取引等費用	3,865,868	(4) 施設費	141,172,702
その他経常費用	△653,530	(5) その他事業管理費	2,222,872
(うち貸倒引当金戻入益)	(△22,865,583)	事 業 利 益	12,599,071
信用事業総利益	221,651,129	3. 事業外収益	31,018,519
(3) 共済事業収益	278,659,452	(1) 受取雑利息	239,143
共済付加収入	258,557,659	(2) 受取出資配当金	22,106,000
その他の収益	20,101,793	(3) 賃貸料	4,101,908
(4) 共済事業費用	26,397,197	(4) 雑収入	4,571,468
共済推進費	20,396,204	4. 事業外費用	268,021
共済保全費	5,389,530	(1) 寄付金	281,710
その他の費用	611,463	(2) 貸倒引当金戻入益	△30,383
(うち貸倒引当金繰入額)	(7)	(3) 雑損失	16,694
共済事業総利益	252,262,255	経 常 利 益	43,349,569
(5) 購買事業収益	2,159,066,965	5. 特別利益	46,136,691
購買品供給高	1,893,780,666	(1) 固定資産処分益	581,114
購買手数料	156,240,666	(2) 一般補助金	13,333,000
修理サービス料	53,750,259	(3) その他	32,222,577
その他の収益	55,295,374	6. 特別損失	71,197,499
(6) 購買事業費用	1,841,087,248	(1) 固定資産処分損	3,308,901
購買品供給原価	1,763,421,457	(2) 固定資産圧縮損	13,333,000
購買品供給費	53,889,904	(3) 価格高騰・台風被害による農家支援対策	29,706,990
修理サービス費	28,950,311	(4) その他	24,848,608
その他の費用	△5,174,424	税 引 前 当 期 利 益	18,288,761
(うち貸倒引当金繰入額)	(8,201,019)	法 人 税 等 合 計	△2,413,267
購買事業総利益	317,979,717	(1) 法人税、住民税及び事業税	1,174,350
(7) 販売事業収益	231,800,464	(2) 法人税等調整額	△3,587,617
販売手数料	191,507,897	当 期 剰 余 金	20,702,028
その他の収益	40,292,567	当 期 首 繰 越 剰 余 金	20,995,122
(8) 販売事業費用	127,339,804	目 的 積 立 金 取 崩 額	30,841,789
販売費	108,219,937	当 期 未 処 分 剰 余 金	72,538,939
その他の費用	19,119,867		
(うち貸倒引当金戻入益)	(△603,641)		
販売事業総利益	104,460,660		
(9) 保管事業収益	26,013,563		
(10) 保管事業費用	8,218,907		
保管事業総利益	17,794,656		

剰余金処分案

(第45年度)

(単位：円)

項 目	金 額
I 当期末処分剰余金	72,538,939
II 剰余金処分案	39,733,442
1 利益準備金	5,000,000
2 任意積立金	26,204,584
① 農業生産基盤維持積立金	5,000,000
② 経営健全化積立金	20,000,000
③ 出資金払戻積立金	1,204,584
3 出資配当金	8,528,858
III 次期繰越剰余金	32,805,497

- (注) 1 出資配当は払込済出資金に対し年 1.0%で期間計算し、本人口座振込みで配当いたします。
- 2 任意積立金における目的積立金の種類及び積立目的、積立目標額、取崩基準等は附属明細書に記載のとおりです。
- 3 当期末処分剰余金の内訳は、
- | | |
|----------------|-------------------|
| 当期首繰越剰余金 | 20,995,122円と、 |
| 再評価差額金（評価損）取崩額 | 0円と、 |
| 目的積立金取崩額 | 30,841,789円と、 |
| 当期剰余金 | 20,702,028円になります。 |
- 4 次期繰越金には、定款で定める営農・生活・文化の改善の事業の費用に充てるための教育情報繰越金（1,035,102円）を含みます。

目的積立金の種類	積立目的	積立目標額	取崩基準	当期末残高
信用事業 基盤強化積立金	金融自由化等の進展に伴うコストアップをカバーし、財務基盤の維持・向上を図るため	1億円	積立金の造成によるその運用果実を信用事業のコストアップをカバーするために、取崩は、基本的に行なわない	1,000,000
固定資産取得積立金	施設の取得資金の一部準備のため	2億円	施設を取得した年度決算期に一部または全額を取崩することができる	122,000,000
教育情報積立金	組合員、役職員の教育・情報活動を充実させるため	1億5千万円	積立金の造成によるその運用果実を教育活動の財源として確保するために、取崩は、基本的に行なわない	59,730,000
経営健全化積立金	会計制度変更に伴う経営リスク、資産取得による処分損・解体費用、臨時的な損失への対応	2億円	目的に沿った取崩しであることを条件に理事会決議	153,000,000
農業生産 基盤維持積立金	農業の生産性向上等、農業生産基盤維持強化のため	2億円	目的に沿った取崩しであることを条件に理事会決議	61,679,537
出資金払戻積立金	死亡後、2年以上経過した組合員の出資金の将来の払い戻し請求に備えるため	1億円	払い戻し請求に基づき払い出した額を取崩すことを条件に理事会決議	25,883,473

JA えびの市は、人権啓発推進事業に取り組んでいます。

令和5年度基本方針

長引く新型コロナウイルス、ロシア・ウクライナ紛争の影響で世界情勢が不安定な中、また農業者の減少、高齢化、資材高騰など農業・農協を取り巻く環境の厳しさは増大傾向ですが、県域JAを念頭に置き、当JAの経営理念である「組合員・地域住民との絆」「農業者の所得増大」「活力ある地域作り」に向けて主に次の事項に取り組みまいります。

1. 水稲

- (1) 稲作振興会が中心となり稲作情報だよりの発行、各種講習会を開催し、各生産者の栽培技術の底上げができるよう情報発信を行います。また、霧島地区ヒノヒカリ（えびの産含む）が日本穀物検定協会主催の米食味ランキングにおいて「特A」が獲得できるよう、関係機関や稲作振興会と連携し、更なる品質向上に努めてまいります。
- (2) 経済連、関係機関一体となった積極的な販売活動を行い、高価格での米の買取りに努め、稲作農家の所得向上、また消費者に評価される良食味を重視した安全・安心な「えびの産ひのひかり」の生産に取り組みます。

2. 園芸部門

- (1) 露地野菜基幹品目（キャベツ・加工人参・加工大根）等の契約栽培拡大を図り生産基盤の維持及び、品質、単収向上につながる適期指導を引き続き行います。
イチゴは品質・反収量の向上による農家所得確保を目指し管理指導の講習会を適宜開催します。

ピーマンは土作り、土壤診断に基づく適正施肥指導等収量向上に努めます。また、付加価値生産による有利販売を継続させるため、グローバルGAPの団体認証について審査を含めた取組みも引き続き行います。

- (2) 行政や経済連等の関連機関と一体となり、園芸・果樹農家の技術指導並びに経営支援に努めてまいります。

- (3) 市場との連携を密にし、市場に対応できる農産物出荷体制を構築してまいります。また、所得が見える販売先の開拓・確保と合わせて買取販売、値決め販売、契約販売を拡充して農家所得安定に繋げてまいります。

3. 畜産部門

- (1) 和牛繁殖センターの運営により、肥育農家への素畜安定供給、育成牛の供給による生産者の労力軽減に貢献し、和牛生産基盤の維持・拡大、に努めてまいります。

- (2) 和牛生産農家の経営安定・改善の為BL対策を含め優良繁殖素牛の導入・保留を進め母牛更新に努めます。また各種補助事業・牛舎リース事業・資金融資等を利用して規模拡大も進め、生産基盤の安定を図ります。

- (3) 肥育農家の経営安定・改善の為飼育技術に応じた素牛導入を行い枝肉重量・肉質の向上で売上増を図りまた資金融資、利子補給補助金活用等支援を行います。

4. 農を基軸とした地域活性化への貢献

- (1) コロナ規制緩和後も感染防止対策を講じ「道の駅えびの」・「足湯の駅えびの高原」を拠点とし交流人口の増加を図り、安全・安心な食のPRを行いながら、地域農業の発展と活性化に努めます。また定期的なイベント開催で集客力を高め来店者に支持され魅力ある道の駅として、地域の活性化に貢献することで指定管理者としての務めを果たしてまいります。

指導事業

組合員・地域住民の共生を目指し、農協の総合事業を活かした経営に取組んで参りますので、組合員皆様方の尚一層のご協力とご指導を宜しくお願い申し上げます。

I. 農産部門

1. 普通作

稲作情報日よりや各種講習会の内容をさらに充実させ、高品質・良食味米生産の総合的な基盤強化に繋がる適期管理と技術情報の発信を継続します。稲作振興会を中心とした活動については、継続して特A評価の獲得を目指し取組みを行います。なお、新たに宮崎県で育種された品種「南海188号」「南海189号」については、関係機関と連携した試験圃を設け、管内での適性について昨年に引続き調査を行う計画であり、さらに肥培管理の違いによる生育差や食味官能の違いなど結果を得る取組みを行うことで、管内普通期水稻の課題解決に繋げていきます。

2. 園芸

(1) 野菜

部会を核とした新たな所得向上運動『所得アップPDC A運動』の実践に向け、生産者個々の課題や掲げる目標の明確化に取組みます。その上で、PDC Aサイクルの定着化による営農活動の好循環を図り、各品目・部会活動の活性化を促進します。なお、この成果を実現に向けては、生産者とJAグループそして関係機関が協調できる体制を構築し、一体感ある活動を継続的に行いながら結果として生産者の所得の向上につながる状況を目指します。また、モデル

的なGAP活動の取組みは継続し、効率の良い作業環境の確立と安全安心で安定的な有利販売に繋がる取組みを進めます。

① 里 芋

さといも疫病予防の啓発と圃場管理指導を継続して行います。種子選別による乾腐病感染種子の除去指導に取組み、収量と品質の向上に努めます。

② 生 姜

計画的な早期定植指導を行い、品質及び反収の向上に向けた取組みを行います。

③ キヤベツ

販売担当と連携し、青果・業務加工向けの販売先確保に取り組みます。その上で、時期に応じた品種の選定の向上に努めます。また、視察研修等を計画し、個々の生産技術向上に繋がる取組みを支援します。

④ 白ネギ

適期定植と適時管理を行い、早期収穫につながる指導を継続します。また、梅雨時期のべと病と高温期の白絹病、軟腐病の予防対策指導を強化し、品質の確保と収量の向上に取組みます。

⑤ いちご

本圃管理においては、草勢の向上を目的に電照技術の見直しを検討し、品質・収量双方の確保に取組みます。また、育苗期間の週一防除を推進し、無病苗の確保に努めます。なお、定植苗の炭酸ガス処理については全生産者の取組みとして継続します。

⑥ ピーマン

近年の極端な気象に対応する栽培管理全般の確立に取組みます。また、生育中のリアルタイム診断の活用や捕食性天敵等の試験も実施し、品質及び反収量の向上に努めます。なお、付加価値生産による有利販売を継続・発展させるため、グローバルGAP団体認証の取組みについても継続的に行います。

⑦ 胡 瓜

関係機関と連携した定期的な現地講習会を実施し、適時管理の重要性を意識付けていきます。また、定期的巡回指導を強化し、管理遅れの解消に取組みます。

⑧ ゴーヤー

適期の管理指導に加えて追肥の見直しを検討し、収量・

品質の向上に取組みます。また、病虫害防除や白果対策についても強化し、均一な品質の確保に努めます。

⑨ 加工ほうれん草
計画的な適期播種指導を行い、加工業者と連携しながら円滑な出荷体系を確立させます。また、播種後からの管理指導を強化し、安定した品質の確保と反収量の増に取組みます。

⑩ 南瓜
品質の向上に向け、排水対策、着色不良対策指導を強化します。また、定期的な巡回指導を行いながら栽培講習や現地検討なども計画的に行います。

⑪ 玉葱
適期定植に合わせた健苗の供給に努め、初期・中期の早期除草を重点的な課題に設定し、初期活着の向上に取組みます。また、収穫機の有効利用による労力軽減を図りながら、水田裏の活用を含めた作付面積の拡大に取組みます。

⑫ 加工野菜
収穫遅れによる品質低下を防ぐ為、収穫時期に合わせた計画的な播種指導を行い、近年発生している降雨による再播発生の負担軽減のため、関係機関と連携した取組みを講じてまいります。

⑬ ちぢみほうれん草
販売課と連携した契約の出荷の拡大に向け、適期播種指導の強化と適時管理の励行を促し、所得の確保に努めます。

(2) 花き
新品目ユーカリ面積拡大に努めます。花卉全般については、早期出荷を目的とした適期定植と管理指導を強化し、品質の向上と出荷量の確保に努めます。また、価格設定型品目の栽培面積拡大を図りながら販売課および関係機関と連携した中山間地域の特性を生かした信頼ある産地づくりを目指します。

(3) 果樹
① 栗
先進地の優良モデル等を参考にした栽培技術の普及を

行い、収量と品質の向上につなげます。また、苗木の補助を行いながら高齢者にも取組みやすい品目として引続き、面積拡大及び苗木購入支援に取組みます。

② キンカン
一番花の着果率向上対策に取組み、品質および収量の向上に努めます。また、関係機関と一体となった各種講習会を計画し、栽培技術の高位平準化に取組めます。

(4) 道の駅えびの・ふれ愛市場
道の駅えびの出荷者協議会とふれ愛市場の活動が、活気のある特色ある売り場づくりにつながるよう、総合的なサポートに取組みます。また、農薬の適正使用に対する意識がさらに高まるような栽培管理指導に努めます。

3. 営農振興

(1) 営農振興
経営所得安定対策については、えびの市農業再生協議会より提示される「米の作付目安」に沿って、需要に応じた米作りを推進する一方、米価維持と自給粗飼料確保のため引き続き生産調整への協力を促して行きます。

また、地域の担い手へ対し農地中間管理事業等を積極的に活用した農地の集積・集約を行うとともに、関係機関等とも連携して良品質米の生産へ向けた支援を行い、地域所得向上を図ってまいります。

また、JAグループ宮崎一体となった所得向上運動『所得アップP D C A 運動』の実践として、目標設定・実績検討・改善活動といった部会単位での活動を定着させることで、組合員の収量と品質アップの支援を行います。

(2) 担い手の育成
新規就農者対策として、えびの市イチゴ団地研修生への技術・経営指導等の支援を行います。

現在えびの市イチゴ団地にて経営を行っている3名の安定経営が出来るよう引続き支援します。また、就農前支援として関係機関と連携して月2回開催している就農相談会の開催や青年等就農計画書

作成支援を行い、円滑な就農へ向けた各種支援も行います。

地域の担い手への出向く訪問先を拡充して、6次産業化などの支援や農作業請負組織・外国人研修制度相談等について行います。

(3) 農地対策

えびの市担い手育成総合支援協議会と連携し、耕作放棄地対策や空きハウス・牛舎の再利用（えびの市農業用中古施設バンク事業）に取組みます。また、基盤整備地域の営農相談に参加してまいります。

(4) 花嫁・後継者対策

市の出会い創出事業等を活用し、行政と連携したイベントの開催や中央会などが主催するイベントにも積極的に取組みます。

II. 畜産部門

畜産部門につきましては、繁殖農家等の支援や各種事業を活用し畜産基盤の強化を図ります。また、防疫巡回等による家畜伝染病の進入防止の指導を行い、防疫の徹底を図ります。そのような中で、下記のような事項に取組み畜産振興を図ります。

1. 和牛

- (1) 各種補助事業等の活用を勧めることで、生産基盤強化等に取組みます。
- (2) えびの産種雄牛早期利用促進のため、継続的な支援に取組みます。
- (3) BL対策取組推進と清浄化へ向け、関係機関一体となった指導を行い、更新指導に努めます。
- (4) 和牛繁殖センター初妊牛の計画的な供給を進めると同時に、優良な子牛生産体制を確立し、管内の生産基盤強化に努めます。

2. 肥育牛

- (1) 計画的資本投下と経営分析結果に基づいた経営指導により経営安定に努めます。
- (2) 新マルキン事業の活用及び補助事業等の活用により、経営基盤の強化を図ります。
- (3) 定期的な血液検査を実施継続し、枝肉重量・肉質の向上を図り販売体制の強化に努めます。
- (4) 「宮崎牛」の知名度を上げる為、経済連と連携し大消費地への宣伝活動に努めます。

3. 酪農

- (1) 個人毎の生産計画の把握、事業を活用した優良育成牛の作出及び搾乳素牛の導入を行い生乳生産基盤の維持に努めます。
- (2) 自給粗飼料の確保状況把握及び作付推進を行い生産コストの低減に努めます。また関係機関と連携し粗飼料に関する病害虫対策を行います。
- (3) 乳用雌廃用牛や乳肥育牛、和牛受精卵産子の有利販売と肉用子牛価格安定基金の活用により、経営基盤の安定を図ります。
- (4) 継続的なヘルパー事業の活用により、ゆとりある酪農経営に努めます。
- (5) 関係機関、経済連と連携し、ポジティブリスト制度に基づく安全・安心な生乳生産の取組と定期巡回による良質乳生産、また、指導体制の集約に向けた取組みに努めます。

4. 養豚

- (1) 飼養管理技術の向上を図り、計画的出荷、品質の安定に努めます。
- (2) 計画的な種豚導入を図り、生産性の安定、所得の向上を図ります。
- (3) 生産から販売まで完結した販売体制づくりに努めます。
- (4) ベンチマーキング（生産性分析）の効率的な活用を行います。

JA えびの市は、人権啓発推進事業に取り組んでいます。

- (5) 飼養衛生管理の徹底を行い、豚熱等疾病対策の強化に努めます。
- (6) 経済連、関係機関と一体となった経営指導に努めます。

5. 鶏卵

- (1) 飼料設計等の見直しを行い、品質の安定、製造原価低減を図ります。
- (2) 各種補助事業等を活用し、鶏舎の環境改善並びに生産性の向上に努めます。
- (3) 鳥獣害対策を行い、野生動物、野鳥の侵入防止を図り防疫対策を徹底します。
- (4) 経済連と一体となり、販売、供給体制強化に努めます。

6. 各部門共通

- (1) 生産基盤の維持強化のため、各種補助事業の活用や専門化への誘導を行います。
- (2) 飼養衛生基準の遵守と自主防疫の指導の徹底を行います。
- (3) 研修会等への積極的参加の誘導による管理技術の向上に努めます。
- (4) 関係機関と連携して畜産物の消費拡大運動を行います。

Ⅲ. 組織・教育・農政・広報部門

1. 青年部

- (1) えびの市農業担い手として、パイオニア制度研修（協同組合の原点を見つめ直す研修）を始めとする各種研修会に参加し、JA青年部の政策・方針集（ポリシーブック）を活用した勉強会を実施します。
- (2) 青年部員加入促進に取組み、組織活動充実および強化に努めます。
- (3) 中央会主催の研修会等へ積極的に参加し、農協運営への意思反

- 映に努めます。
- (4) 地産地消運動・食農教育活動・各種イベント等を通じて食と農の文化のPR活動に努めます。
- (5) JA主催、中央会主催等の婚活イベントに積極的に参加するよう努めます。

2. 女性部

- (1) JA自己改革の研修会を実施してJA運営参画を促進し、世代別・多目別活動の充実強化を図りながら魅力ある活動と仲間づくりに取組みます。
- (2) 助け合い活動の充実と役員参加の介護予防教室の開催、生活習慣病の予防・啓発活動・各種定期健診を行政と連携を図り実施します。
- (3) 生活館夢工房はJA女性部活動施設として共同購入品・一般資材の充実を図ります。

3. 教育・農政・広報活動

- (1) 他国との貿易協定等を踏まえ、持続可能な農業経営の確立と農業所得の向上のため、地域実態にあった現場の声を農業政策に反映できる農政運動の充実・強化に取組みます。
- (2) JA広報誌に身近な内容を掲載し、情報提供します。また、ホームページで最新の情報を発信します。
- (3) 組合員教育の一環として、日本農業新聞の購読に努めるとともに、新採用職員に対し農業新聞記事を活用し、農業・JA組織への理解が深まるように取組み、家の光三誌等の普及・活用による教育文化活動の取組みを実施します。また、総代研修会・農事推進部長研修会・総合座談会の継続開催と、地元中学生・高校生のインターシップを積極的に受入れ食農教育に努めてまいります。
- (4) JA宮崎中央会が主催する階層別研修会、JA戦略型人材育成研修会へ継続計画的に派遣し、次世代を担う職員の育成に努めます。また、資格試験に挑戦することによる自己研鑽に努めます。

Ⅳ. 農家経営体支援センター

- (1) 認定農業者、農業後継者等を中心に中央基本コンサル・地域面談コンサルを適時に実施し、経営支援強化に取組みます。
- (2) 記帳講習会や税務研修会を開催し、青色申告の重要性・必要性を説明して新規認定就農者や青年部を中心に加入促進を行い会員拡大に努めます。
- (3) 各種、節税特例を有効活用した指導に努めます。
- (4) 農業経営者組織協議会の一般記帳会員から電算記帳会員への切り替えを進め、会員の経理負担軽減と申告事務の円滑化を進めます。
- (5) e-TAX青色申告特別控除(65万円控除)の普及推進に努めます。

販売事業

1. 農産

令和4年産米販売につきましては、これまで築き上げた取引先との信頼関係を最大限に生かし、取引量販店への供給が滞らないよう努め、特A産地の強みを生かし令和5年産米に繋げるよう努力致します。また安全・安心・美味い『えびの産ひのひかり』のブランド維持向上に努めます。

- (1) 量販店・飲食店との関係を密にし、マーケティング戦略を整え、販売環境の向上に努めます。
- (2) 「えびの産ひのひかり」のブランド維持向上に取組み、行政と一体となった販促活動に努めます。また、経済連と連携し宮崎県農産物として位置付け強化に取組みます。

- (3) 安全・安心を基本に、品質、食味の安定したものを供給し、「顔の見える」販売に努めます。
- (4) 系統販売による蕎麦の契約を前提に地産地消も取入れた販売強化に努めます。

2. 園芸

農業を取り巻く環境は、燃油や資材等の高騰、コロナ禍の影響により、依然として厳しい販売環境にあります。また、集中豪雨・干ばつ・猛暑等の異常気象の影響や新型の病害の発生による生育不良など、外的要因の影響も大きくなっており、こうした中、経済連や市場、その他販売先と連携し、実需者及び消費者ニーズ並びに生産者ニーズを掴みながら、新たな販路の開拓や販売方法に取組み、生産者所得の確保・向上に努めます。

- (1) 経済連及び各営業所と連携強化による関西・九州地区への販売先確保に取組みます。
- (2) 業務加工向け取引先への安定供給を行うと共に、新たな販売先の開拓並びに出荷方法の提案を行い、生産者所得の確保・拡大に努めます。
- (3) 系統並びに系外取引、また買取販売の拡充を積極的に行い、販売先の確保・拡大に努めます。
- (4) 部会と連携した新たな産地情報の提供及び販売営業活動を進め、えびの産農産物の認知度向上に努めます。
- (5) 行政と一体となった産地化拡大推進を進め、えびの産農産物の認知度向上に努めます。
- (6) 年間を通して、ふれ愛市場等による地産地消の拡大と会員の拡大および供給体制の強化に取組みます。

3. 畜産

生産基盤の強化と生産性の強化に努め、飼料自給率の向上等によるコスト削減を行い所得向上と安全・安心を基本とした畜産物の生産及び販売対策に取組みます。

4. 道の駅えびの

- (1) 観光会社等への営業活動強化と行政・出荷者と連携を図り、「道の駅えびの」のPRに努めます。
- (2) ホームページを活用し、イベントやフェア開催の案内等の広報活動を図ります。
- (3) インターネットでの地域農産物のPRと販売に努めます。
- (4) 地産地消を目指した新たな品目（果樹）への取組みを行い、「道の駅えびの」のPRに努めます。
- (5) 「足湯の駅えびの高原」での物産販売による地域貢献を図ります。

購買事業

1. 生産資材

飼料・肥料・農薬など、原油価格の高騰等で依然として輸入原料は高値で推移し過去に無い高値が予想されます。また、高齢化や後継者不足による農業従事者の減少する中、生産基盤の維持拡大・生産性向上を主軸として生産・労力コストの低減による所得増大に努め農家の経営安定のため、系統一体となって取組みます。

- (1) 経済連と連携を強化しバラ・TMR飼料の普及と系統配合飼料の利用促進による安定経営や生産コスト削減と労力の削減に努めます。
- (2) 中核農家や大口農家及び法人経営体への出向く体制作りと指導購買を基本に積極的推進や予約率を高め大口一括仕入れによる価格対策、フレコンバッグ肥料の普及等により低コスト化に努めます。
- (3) 秋ウンカ対策に新しく導入した水稻苗箱施薬剤の利用推進と無人ヘリによる水稻の適期防除、ジェネリック農薬・大型規格農薬

の普及拡大での労力軽減・コストの削減に努めます。

- (4) 定期的な市況調査の実施により、生産資材価格の見直しを経済連と協議し改善します。
- (5) 予約率の向上を図りグリーンセンターの経営、統廃合について検討を行います。
- (6) 専門技術取得講習会に参加し専門的知識の習得や資格取得に努め、品目毎の肥料施肥量や農薬の使用基準遵守及び安全使用など窓口での接客技術向上を図ります。

2. 燃料（給油所・LPガス）

- (1) 給油所事業は地域に密着した給油所を目指し、組合員ならびに地域住民のニーズに対応できる接客サービスの向上、店舗美化の徹底、営農用燃料の安定供給を図ります。
- ① 月別推奨商品（オイル・タイヤ・バッテリー・ワイパー）を設定し、油外商品の拡大による利用客の増大を図ってまいります。
- ② 利用者とのコミュニケーションを図り、オープンボンネットにより笑顔で満足されるサービスを提供します。
- ③ 営農用燃料（軽油・A重油）を予約配達として、計画的な配達と利用状況を把握し、燃料タンクの有効活用と安定的な供給に努めてまいります。
- (2) LP事業は、利用者の高齢化とオール電化設備の増加により利用者が減少する中、高効率ガス器具・リース契約によるガス給湯器の普及拡大に努めて参ります。また、契約世帯全戸にガスキャッチを設置し、24時間の見守り体制によりLPガスの安全安心な利用に努めてまいります。

3. 農機自動車修理整備センター

- (1) 農業機械は、各種補助事業の活用やJAグループで取組む低コスト農機の普及推進ならびに中古農機の幹旋転売や農機レンタル事業の普及拡大に積極的に取組んでまいります。
- ① 農閑期を活用したアフター訪問を行い、農機の点検整備や必要に

応じた農機の更新等、組合員ニーズに応じてまいります。

② 農機レンタル事業の普及拡大により経営コスト削減に努めてまいります。

③ 機械クラブ会員拡大を図り、各自治会での整備会を通じて安全作業・農作業事故防止の啓発に取り組んでまいります。

(2) 自動車事業は、ディーラー協賛による展示会等の開催により、顧客ニーズにあった販売を行って参ります。整備工場については、整備士の技術向上を図り、安心して任せられる整備工場を目指してまいります。

① オートパルえびのを拠点とし、新型車や中古車情報の提供を行い、販売の強化を図ってまいります。

② 各種研修会への参加により整備技術の向上と車検整備に伴う顧客の満足度を高めてまいります。

4. 生活資材

(1) 関係機関との連携強化による商品のPR・提案、カタログ予約販売や展示会の開催による生活関連資材の普及拡大と安定供給に努めます。

(2) 専任職員による耐久資材(太陽熱温水器・ボイラー・瓦・シロアリ駆除等)や組合員の健康管理に必要な医療・健康器具の普及拡大に努めます。

(3) JA葬祭担当者と連携を図った忌明けのシェア率向上とギフト商品(忌明け・お中元・お歳暮・快気祝)取扱いの拡大とシェア率向上に努めます。

(4) 全職員によるサンAジュースの消費拡大に努めます。

信用事業

JAバンク宮崎中期戦略に基づく農業と地域・利用者をつなぐ金融サービスの提供、地域・社会貢献に取組み、さらに基盤インフラ等を行うことで利用者からより一層信頼される金融機関を目指します。

1. 貯金

(1) 県下統一キャンペーンを活用し、組合員利用者への良質な金融サービスの提供を行い「集まる貯金」を推進します。

(2) 年金友の会会員のメリットを広く啓発するため、組織活動の充実及び会員向け広報の発行等を行います。また、年金振込口座獲得に取組み貯金の増加に努めます。

(3) JAと未取引の若年層を対象とした給料振替・口座振替等の付帯取引拡大を図り顧客の基盤強化に努めます。

(4) 窓口の混雑軽減と公平性を期するため発券機を設置し、更なる窓口サービス向上に努めます。

2. 融資

(1) 利用者のニーズに即した資金の情報提供を行い、認定農家、担い手経営体及び農業法人を対象に営農部門と連携した継続的な訪問活動を行い顧客対応力強化に努めます。

(2) スマートフォンやパソコンからのマイカーローン申込受付業務(JAネットローン)により、利用者の利便性向上を図ります。

(3) 健全性確保のため経営基盤強化、リスク管理態勢強化および法令遵守・利用者保護に努めます。

(4) 全職員によるローン等の推進を積極的に展開し貸出残高の伸長に努めます。

(5) 生産資材等の価格高騰を見据え事業継続に必要な資金対応に努めます。

(6) 災害等の発生により被害を受けられた組合員への迅速な資金対応に努めます。

3. 共通

(1) 高度化、多様化している業務に対応していくために、研修会への参加、通信教育の積極的受講及び職員相互研修等を活用した人材育成と職員の更なる資質向上に努めます。

(2) 信用事業担当者向け研修会の開催等により店舗での更なる窓口サービス強化を図り、利用者の満足度向上に努めます。

(3) JAホームページを活用したキャンペーン情報等を掲載し、内容の充実に努めます。

(4) 農業振興に結び付く金融商品の普及拡大に努めます。

共済事業

JA共済は、「ひと・いえ・くるま」の総合保障の提供を通じて組合員・利用者の保障・サービス充実のため、ライフアドバイザーを中心とした3Q訪問活動による保障点検を強化し、地域に寄り添った共済事業実施体制の構築と定着をめざしてまいります。

1. 普及活動

(1) 新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、多様化するニーズに対応し、組合員・利用者の「安心」と「満足」を提供するため長期共済新契約目標60億8,551万円を設定し、普及活動に努めます。

(2) JA共済代理店連絡協議会と連携を図り、Wダッシュキャンペーン（自動車・自賠責拡大運動）を展開し、自動車共済7,300台・自賠責共済5,450台の目標を設定し、普及活動に

努めます。

2. 保全活動

(1) 組合員・利用者との更なる信頼関係の構築を目指して窓口対応の強化に努めます。

(2) サービス向上のため正確・迅速・丁寧な引受・支払査定体制の構築に努めます。

3. 自動車損害査定

(1) ご契約者の満足度向上のため、安心サポーターによる迅速・丁寧な現場対応ならび夜間・休日現場急行サービスの充実に努めます。

4. 地域貢献活動

(1) 地域とのつながり強化に向けた地域貢献活動として、産業文化祭でのイベント開催・交通安全啓発活動・女性部と連携した集団検診実施の促進に努めます。

総務

1. 「財務諸表の正確性、内部監査の有効性についての経営者責任の明確化」について、各部門と連携して今年度も取組みます。

2. 全国一律の会計基準（収益認識会計基準等）を適用し、組合員皆様へ情報開示を行います。

3. 人材確保のため、職員募集活動の強化を行います。

4. 基本理念・経営理念・行動指針・役員宣言の実践を図り、組合員をはじめ地域に貢献できるJAを目指します。

5. 活力ある職場づくりをすすめ、職場環境の充実と、ストレス

監査

- チエックを実施し、メンタルヘルス対策の向上を図ると共に、新型コロナウイルス感染症予防対策を継続して行います。
6. 働き方改革を実施します。
7. 内部統制マニュアルに沿った事務手続を継続し、個人情報と情報セキュリティの遵守に引き続き取り組みます。
8. JA自己改革を引き続き実践します。
9. 「県域JA」設立に向けて、組合員への説明会の開催、合併経営計画書ならびに合併契約書の承認のため理事会および合併臨時総会を開催して参ります。

法令遵守等の状況および内部統制マニュアルの定着状況について確認を行い、また、業務執行や会計処理の改善点を明らかにし、改善方法を示唆することにより、財務保全、経営の合理化、業務の改善、能率増進を図ります。

1. 全国一律の会計基準適用に基づく会計処理等について、計画的・定期的に内部監査（マネー・ロンダリングリスク管理態勢含む）を実施し、問題点の指摘と改善方法の提言を行います。
2. 内部監査担当者の資質の向上に努めます。
3. 財務諸表の正確性についての内部監査を実施します。
4. 信用事業事務管理態勢の充実・強化に向けた取組みにかかる整備状況及び貯金者データ整備状況の確認監査を実施します。
5. 内部統制運用状況の確認監査を実施します。
6. コンプライアンス遵守状況の確認監査を実施します。
7. JA内部監査基準に基づき指摘事項の改善状況確認監査を実施します。

8. 資産自己査定の確認監査を行います。
9. 内部監査の品質評価を実施します。
10. 中央会業務監査に帯同し、事務処理の統制確認を行います。
11. 監事監査の補助を行います。
12. 常勤監事の補助を行います。



損益計画書

令和5年2月1日から令和6年1月31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
1. 事業総利益	966,850	(11) 加工事業収益	278,210
(1) 信用事業収益	226,455	(12) 加工事業費用	250,086
資金運用収益	209,230	加工事業総利益	28,124
(うち預金利息)	(107,414)	(13) 利用事業収益	434,321
(うち貸出金利息)	(101,816)	(14) 利用事業費用	350,751
その他の事業直接収益	17,225	利用事業総利益	83,570
(2) 信用事業費用	31,293	(15) 導入家畜事業収益	11,300
資金調達費用	1,984	(16) 導入家畜事業費用	500
(うち貯金利息)	(978)	導入家畜事業総利益	10,800
(うち借入金利息)	(206)	(17) 指導事業収入	80,631
(うちその他支払利息)	(800)	(18) 指導事業支出	132,340
その他事業直接費用	29,309	指導事業収支差額	△ 51,709
信用事業総利益	195,162	2. 事業管理費	962,961
(3) 共済事業収益	276,814	(1) 人件費	695,169
共済付加収入	253,159	(2) 業務費	82,414
その他の収益	23,655	(3) 諸税負担金	35,694
(4) 共済事業費用	29,185	(4) 施設費	147,684
共済推進費	22,661	(5) その他費用	2,000
共済保全費	5,842	事業利益	3,889
その他の費用	682	3. 事業外収益	29,722
共済事業総利益	247,629	(1) 受取雑利息	270
(5) 購買事業収益	3,320,767	(2) 受取出資配当金	22,107
購買品供給高	3,208,819	(3) 賃貸料	3,293
修理サービス料	54,904	(4) 雑収入	4,052
その他の収益	57,044	4. 事業外費用	466
(6) 購買事業費用	2,991,721	(1) 寄付金	466
購買品供給原価	2,893,093	経常利益	33,145
購買品供給費	57,325	5. 特別利益	15,665
修理サービス費	30,371	(1) 一般補助金	15,665
その他の費用	10,932	6. 特別損失	16,063
購買事業総利益	329,046	(1) 固定資産処分損	398
(7) 販売事業収益	255,348	(2) 固定資産圧縮損	15,665
販売手数料	223,635	税引前当期利益	32,747
その他の収益	31,713	7. 法人税、住民税および事業税	9,014
(8) 販売事業費用	146,026	当期剰余金	23,733
販売費	119,882		
その他の費用	26,144		
販売事業総利益	109,322		
(9) 保管事業収益	22,943		
(10) 保管事業費用	8,037		
保管事業総利益	14,906		

固定資産の取得計画

1. 取得計画

(単位：千円)

場 所	施設・資産名	数量	取 得 見込金額	補助金 見込金額	実質取得 見込金額
市 内	鶏 舎 ・ 機 械 類 等	1	40,000	20,000	20,000
集 荷 場	予 冷 庫	1	25,000	—	25,000
本 店	2階空調・換気設備工事	1	24,800	15,665	9,135
杉水流ライスセンター	栗 選 果 機	1	18,700	—	18,700
杉水流ライスセンター	米 穀 乾 燥 機	1	8,882	—	8,882
集 荷 場	集 荷 場 LED改 修 工 事	1	6,874	—	6,874
市 内	畜 舎	2	6,000	—	6,000
各 事 業 所	業 務 用 パ ソ コ ン	7	2,460	—	2,460
集 荷 場	サ ン ボ ッ ク ス	1,000	1,750	400	1,350
白 鳥 育 苗 所	稚 苗 用 育 苗 箱	10,000	1,500	—	1,500
各 支 店	発 券 機 シ ス テ ム	3	1,404	—	1,404
本 店	外 壁 改 修 工 事	1	1,300	—	1,300
本 店 他	ブ ラ イ ン ド 更 新 他		5,956	524	5,432
合 計			144,626	36,589	108,037

2. リース・賃借契約による取得計画

(単位：千円)

場 所	施設・資産名	数量	総額	期間	区分
市 内	L P ガ ス 20kg 容 器	150	1,200	6年	リース
市 内	L P ガ ス マ イ コ ン メ ー タ ー S 型	150	2,870	9年	リース
市 内	L P ガ ス 業 務 用 メ ー タ ー E B 型	6	93	9年	リース
合 計			4,163		

固定資産の処分計画

1. 処分計画

(単位：千円)

部 門	施設・資産名	数量	取得金額	帳簿価格	処分損
建 物 ・ 構 築 物	総合営農センター空調設備工事 他	2	1,746	149	149
機 械 ・ 装 置	機械センター 自動車整備洗車機	4	5,945	217	217
土 地	杉水流ライスセンター・加久藤駅前土地	4	38,348	38,348	—
器 具 ・ 備 品	飯野給油所 混合油計量機 他	9	1,806	28	28
合 計			47,845	38,742	394

JA えびの市は、人権啓発推進事業に取り組んでいます。

株式会社 ジェイエイエびの市葬祭報告書

1. 会社の概要

項目	内容	項目	内容
(1)会社名	(株)ジェイエイエびの市葬祭	(6)資本金総額	10,000,000円
(2)代表者名	代表取締役 小吹 敏博	(7)発行済株式数	200株(全株JA所有)
(3)設立年月日	平成4年7月7日	(8)役員数	取締役10名・監査役2名
(4)事業年度	毎年2月1日～1月31日	(9)職員数	男4名(内JA出向1名) 女5名
(5)事業内容	葬祭に関する業務一切	(10)営業開始日	平成5年4月15日

2. 運営の方針

JA葬祭は、JA組合員と地域の皆様の消費生活における葬祭経費の負担軽減と計画化をすすめ、生活改善の一翼を担うことを運営の方針としています。

3. 財務の状況

令和5年1月31日(単位:円)

資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	91,148,648	流動負債	27,763,583
棚卸資産	537,527	固定負債	413,610,498
固定資産	587,669,850	資本金	10,000,000
		法定準備金	10,000,000
		特別積立金	203,000,000
		前期繰越剰余金	3,464,032
		当期剰余金	11,517,912
計	679,356,025	計	679,356,025

4. 事業取扱実績

令和4年2月1日から令和5年1月31日まで(単位:件)

項目	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	計
計画	20	18	18	18	18	18	18	18	19	20	20	20	225
実績	23	21	19	18	15	19	15	18	22	17	22	20	229

5. 損益の状況

(単位:円)

令和4年度実績		令和5年度計画	
科目	金額	科目	金額
収益	213,435,844	収益	216,116,000
費用	201,917,932	費用	214,057,000
当期剰余金	11,517,912	当期剰余金	2,059,000

株式会社 JAアグリランド田の神さぁ報告書

1. 会社の概要

項目	内容	項目	内容
(1)会社名	(株)JAアグリランド田の神さぁ	(6)資本金総額	9,800,000円
(2)代表者名	代表取締役 小吹 敏博	(7)発行済株式数	196株(190株JA所有)
(3)設立年月日	平成18年6月20日	(8)役員数	取締役3名・監査役1名
(4)事業年度	毎年2月1日～1月31日	(9)職員数	男7名
(5)事業内容	農業経営・農作業受託等	(10)営業開始日	平成18年7月7日

2. 運営の方針

JAアグリランド田の神さぁは、JA組合員と地域の農業者の高齢化や担い手不足に対応し営農支援や優良農地の確保と有効利用を図ることを運営の方針としています。

3. 財務の状況

令和5年1月31日(単位:円)

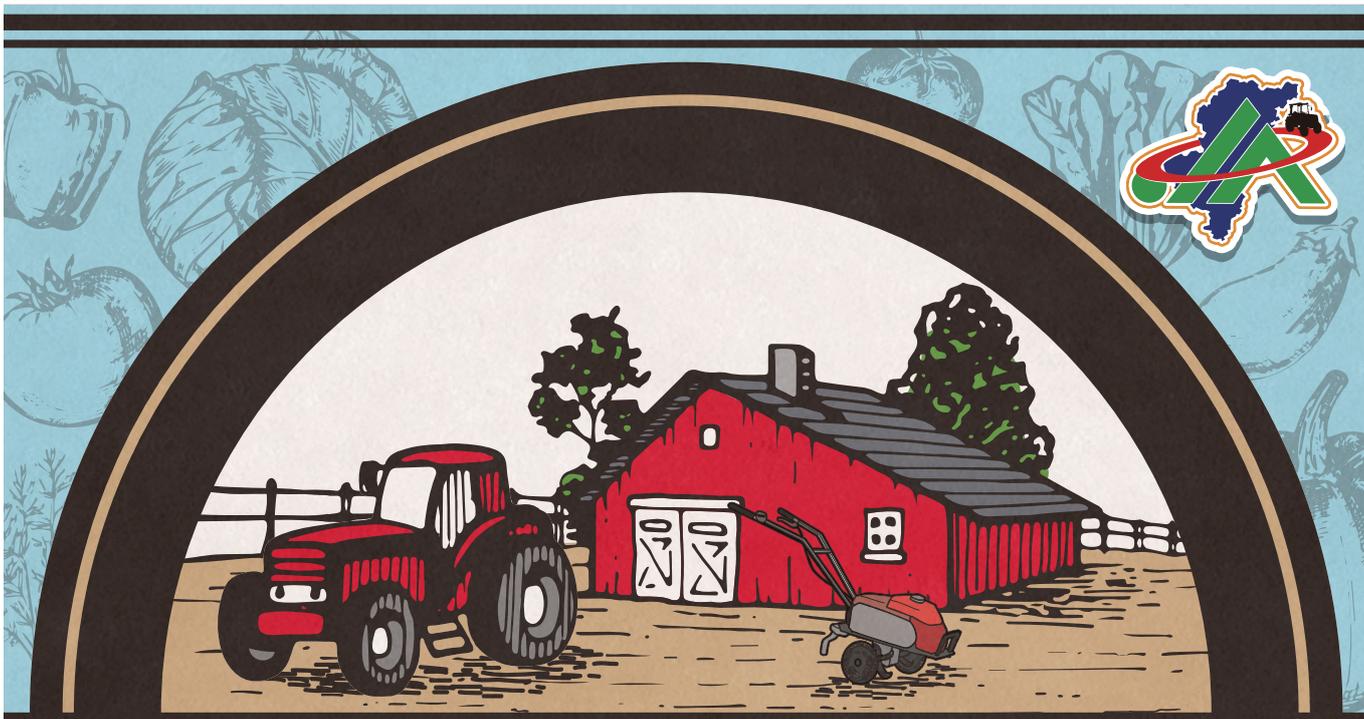
資産の部		負債及び純資産の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	14,553,189	流動負債	6,500,180
棚卸資産	130,626	固定負債	60,068,116
固定資産	65,784,635	資本金	9,800,000
		特別積立金	0
		前期繰越剰余金	911,167
		当期剰余金	3,188,987
計	80,468,450	計	80,468,450

4. 損益の状況

(単位:円)

令和4年度実績		令和5年度計画	
科目	金額	科目	金額
収益	74,831,348	収益	73,178,000
費用	71,642,361	費用	72,088,000
当期剰余金	3,188,987	当期剰余金	1,090,000

JAえびの市は、人権啓発推進事業に取り組んでいます。



JA BIG FAIR 2023

7/6 THU . 7/7 FRI . 7/8 SAT 9:00~15:00
雨天決行

イオンモール宮崎
北側駐車場

JAビッグフェア～最新の農業機械を多数展示～

ご来場者様には
記念品贈呈!

ご成約者様に
特典あり!

美味しものが大集合!
キッチンカー出店
Kitchen Car



目玉商品多数! 展示内容
農機及び関連資材・省エネ機器
担い手対策機器・中古農機
農機レンタル・営農車等

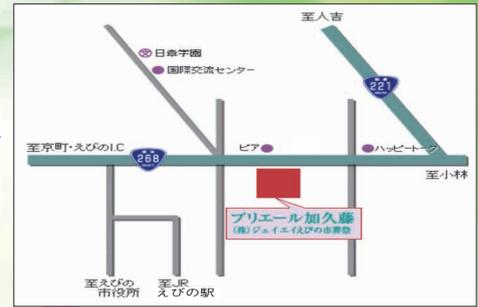
主催 / 県下JA及びJA宮崎経済連
協賛 / JA 全農・宮崎県農協農業機械技術指導員協議会・宮崎県系統メーカー会・農機メーカー・自動車ディーラー

会場案内図 自家用車でご来場のお客様はイオンモール宮崎の駐車場をご利用ください

相談会開催中

(お葬式の疑問にお答えいたします)

お葬式に不安(万一の時には?いくらぐらいかかるの?)、その疑問、専門のスタッフが解消いたします。突然のことだからこそ、信頼ある業者を見つけておくことも大事なことです。この機会に、ぜひJA葬祭へご相談下さい。



飯野会館・ご自宅でご相談を希望の方はお電話下さい!

※お電話にて予約いただければ、お客様をお待たせすることはありません。

(株)ジェイエイえびの市葬祭
TEL 0984-35-0727 (代)

葬儀社社員 大募集!!

(株)ジェイエイえびの市葬祭では、正社員を募集しています。賃金は?仕事内容は?職場環境は?などなど気になることはなんでも!お尋ねください。(電話・リモートでも質問を受け付けます)

(株)ジェイエイえびの市葬祭 ☎ 0984-35-0727 (代)



ja-ebino.com

検索

プリエール「あんしんの会」会員募集中

- (1) 会員の条件 加入金を納付された方
- (2) 加入金は
 - ① JAえびの市の組合員の方は2,000円といたします。
 - ② 一般利用者は3,000円とし、加入金のうち1,000円はJAえびの市への出資金といたします。
 - ③ 会員自身の葬儀の場合は、加入金の2,000円を葬儀費用に充てるものとし、会員資格を喪失いたします。
- (3) プリエール会員の特典

祭壇価格(税抜)の10%をJAえびの市葬祭の決算期にお返しいたします。

葬儀の申込みがあり葬儀が重なった際に日延べの相談をさせていただきますが、調整ができずに止む無く他の葬儀場で葬儀をされた会員に対しても、同様に祭壇価格平均(税抜)の10%をお返しする対応とさせていただきます。
- (4) 利用者特典の範囲は

特典を受けられる親族の範囲は、両親、配偶者、子供とします。



葬儀相談会開催中

※お葬式の不安・疑問に、専門のスタッフがお答えし、解決いたします。
※家族葬のご相談も承ります。

お申し込み・お問い合わせ先



(株)ジェイエイえびの市葬祭 ☎ 35-0727 (代)
プリエール加久藤会館・プリエール飯野会館

JAえびの市は、人権啓発推進事業に取り組んでいます。

三大疾病保障付

取扱期間

令和5年2月1日(水)～令和6年1月31日(水)

JA住宅ローンサポート3

【固定変動選択型】
10年固定金利

年**1.55%**

最大で
年**0.45%**
引下げ

年**1.10%**

合わせて

1.16%

死亡・後遺障害保障に加え
所定の状態と診断されたら

がん 脳卒中

急性心筋梗塞

住宅ローン
残高が **0** 円に

対象住宅ローンの金利に

+年0.06% 上乗せでOK!

※実際の融資金利はお近くのJA窓口までおたずねください

ご成約の方に

5千円相当

宮崎の農畜産物等
(カタログギフト)

プレゼント

3年 5年 固定金利も
お取り扱いしています

お問い合わせは
融資センター 35-1212
本店金融課 33-3103

クロスワード・パズル

正解者の中から5名様に賞品をさしあげます。

★ヨコの力

- 1年が一番昼が長い日
- 徳川家康が晩年を過ごした——城
- 不動産会社が売買するものの1つ
- 『落穂拾い』や『晩鐘』を描いた画家
- 奈良や鎌倉のものが有名
テッセンとも呼ばれる
キンポウゲ科の花
- 相撲取りが踏みます
抑揚のないせりふ回しは
トウモロコシやゴー
ヤーが多く出回る季節
- 弁当箱にご飯と一緒に
詰めます
- コート、——ブーツ
円周率を表す文字
ネタとシヤリで作ります

★タテの力

- 招く側がホストなら、
招かれる側は
タマネギを切ると出る
ことも
- 建てたばかりの建物の
こと
- 数字のゼロを日本語で
いうと
- サーブ——トス↓
アタック
- 「海鼠」と書く生き物
置き時計はクロック、
腕時計は
- 仕事や用事がない空き
時間のこと
- コシヨウ、ナツメグ、
シナモンなど
- プールの授業のときに
着ます
- 領収書に収入——を
貼った

5月号の当選者

5月号の答えは「アマリリス」でした。正解者12人の中から次の5人が当選されました。(敬称略)

- ☆おめでとうございます☆
- ▽奥 美智子(飯野)
- ▽水 迫 幸子(加久藤)
- ▽上 谷川 順子(加久藤)
- ▽原 山 正昭(真幸)
- ▽境 田 歩(真幸)



エーコーブ
「ごまあえの素」
「塩こうじパウダー」
2点セット!!

▽解き方
普通のクロスワードの要
領で全部解いて下さい。
次にA↓Eの二重ワクの
文字を順に並べると、一つ
の言葉ができます。それが
答えです。

▽応募方法
官製ハガキに答えを記入
し、あなたの住所・氏名・
年齢・職業を書いて応募し
て下さい。一人につきハガ
キ1枚を有効とします。

▽締切 6月20日
(当日消印有効)

▽発表 本誌7月号紙上
▽あて先 〒889-4311
えびの市大明司 総務課
JAえびの市

▽正解者の中から抽選で5
名にごまあえの素と塩こう
じパウダーのセットをプレ
ゼント

★ご応募に際して取得した個人情報はこのたびの賞品プレゼントの抽選・発送以外には一切使用しません。

さがそうよ 涙を笑顔に する言葉

行事予定

令和5年6月12日～7月10日

月	日	曜	行 事
	12	月	ふれあい日
	13	火	JA-S S感謝セール
	14	水	子牛セリ市(～16日)
	18	日	グリーンセンター・MC営業
	20	火	道の駅えびの休業日 廃プラ集積日(塩化ビニール) JA宮崎経済連和牛枝肉共進会 県下一斉消毒の日
6	21	水	生産資材特売会
	22	木	オーツヘイ即売会
	23	金	JA-S S感謝セール BL採血
	25	日	グリーンセンター・MC営業
	28	水	耳標装着 年金友の会会員旅行(大分)(～29日)
	29	木	成牛セリ市(妊娠牛) 盆提灯展示会(夢工房)(～7/2日)
	30	金	耳標装着
	3	月	JA-S S感謝セール 畜産共進会西諸二次予選(種牛の部)
	4	火	生産検査
	5	水	生産検査
	6	木	生産検査 JAビッグフェア(～8日)
7	7	金	JA主催子牛品評会 BL採血申込締切(9月セリ市分)
	9	日	成牛セリ市・妊娠牛・乳子牛・ 和牛ETセリ市
	10	月	ふれあい日 和牛登録検査

理事会報告

5月25日、本店で理事会を開催し、すべての審議事項・協議事項が承認されました。

●審議事項

- 令和4年度決算に係る監事監査指摘事項に対する回答について
- 令和5年度第1四半期事業実績検討について
- JA畜産経営継承支援事業にかかる固定資産の取得、物品売買契約の締結、畜舎施設等賃貸借契約の締結について
- JAえびの市第16回総代選挙に

ついて

■ 令和5年度各理事の報酬額について

■ 令和4年度版ディスクロージャー誌について

●報告事項

- 大口与信先上位30先について
- 包括承認された利益相反取引後の報告について
- JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」「JAの経営状況に関する事項の報告」について
- 事業継続計画(BCP)の一部変更について
- 本店玄関外壁改修工事の完了について

■ 余裕金運用状況について

■ みのり監査法人との監査契約書について

■ コンプライアンスニュースについて

■ (株)JAアグリランド田の神さあの令和5年度第1四半期事業実績について

■ (株)ジェイエイエびの市葬祭の令和5年度第1四半期事業実績について

